



〔杉谷〕 生活様式の

多様化や青年層の地域への愛着心が希薄化したことにより、都市への若者流失で地域社会に対する帰属意識が薄まってきている。それに伴い、次世代を担う人材が不足し、地域が持っていた、ふれあいや

杉谷議員

魅力あるまちづくりは？

町長

住民と行政の連携で

町民が、安心・安全で心豊かな生活を送るため、地域の助け合いが必要となる。大山町総合計画後期基本計画の「町民と行政の協働のまちづくり」の進捗状況は、

〔町長〕 集落の健康診断は、現在、3分の1の集落で行われている。今年度の「大山町地域活性化支援

事業交付金」は、11の集落で事業に取り組んでいる。

〔杉谷〕 集落リーダーの人材育成の現況は、

〔町長〕 着実に、その取り組みの質が高まってきており、先進地の視察や講演会を考えている。

〔杉谷〕 魅力あるまちづくりに対する行政のかかわりは、

〔町長〕 住民と行政が連携して、いま進めている取り組みを充実していきたい。



グラウンドゴルフで地域のふれあい

新しいグラウンドは必要か？

米本議員

町長

地域活性化に重要



〔米本〕 山香荘のグラウンド建設がまた提案された。3月議会で否決された案件だが、町民の理解は得られるのか。

〔町長〕 粘り強く説明することで理解が得られる。

〔米本〕 赤字解消から廃止売却もあるのでは。なぜ継続ばかりを取り上げたか。

〔町長〕 検討委員会・議会とも存続を希望していた。

〔米本〕 議会・検討委員会の答申も多額の投資はしないとなつてているが。

〔町長〕 投資と収益のバランスがとれる持続性の高い方策である。

〔米本〕 検討委員会の意見を尊重すると言っていたが。

〔町長〕 基本理念も含め最大限の実現をはかるよう検討した。

〔米本〕 赤字解消のためにスポーツ合宿にこだわる理由は。

〔町長〕 スポーツ合宿で交流人口を増やすことが重要。

〔米本〕 フットボールセンターの認定と指定管理・サッカー協会との関係は。

〔町長〕 関連はない。

〔米本〕 その後の整備計画はあるのか。

〔町長〕 遊具公園、食事施設、周辺道路整備などを今後検討する。



芝を張り替え予定のグラウンド